修士課程　入学試験要項

■ 募 集 人 員 等

研究科	専攻	募集人員 1期 公募	募集人員 1期 推薦	募集人員 2期 公募	募集人員 合計	修業年限
医療福祉学研究科	医療福祉学専攻	8名		2名	10名	2年
	臨床心理学専攻	30名		10名	40名	
	保健看護学専攻	8名		4名	12名	
医療技術学研究科	感覚矯正学専攻	6名		2名	8名	
	健康体育学専攻	6名		2名	8名	
	臨床栄養学専攻	6名		2名	8名	
	リハビリテーション学専攻	4名		2名	6名	
	医療技術学専攻	6名		2名	8名	
医療福祉マネジメント学研究科	医療福祉経営学専攻	2名		1名	3名	
	医療秘書学専攻	1名		1名	2名	
	医療福祉デザイン学専攻	2名		2名	4名	
	医療情報学専攻	2名		2名	4名	

※本大学院臨床心理学専攻は、(公財)日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士受験資格に関する第1種指定を受けています。また、公認心理師となるために必要な本専攻での履修科目と、4年制大学卒業までに履修した必要な科目を届け出ることにより、公認心理師受験資格を得ることができます。

■ 出　願　区　分

出願区分	出願対象
公募	修士課程出願資格を有する者
推薦	本学を2024年3月に卒業見込みの者で学科長の推薦を受けた者

※推薦の募集人員は各専攻の定員の1/2程度とする。

■ 入 学 試 験 日 程

試験種別	出願期間【消印有効】	試験日	合格発表	入学手続き期間【消印有効】
修士1期	2023年8月18日(金)～8月25日(金)	2023年9月6日(水)	2023年9月15日(金)午前9時	2023年9月15日(金)～9月22日(金)
修士2期	2024年2月5日(月)～2月9日(金)	2024年2月21日(水)	2024年2月27日(火)午前9時	2024年2月27日(火)～3月4日(月)

■ 出　願　資　格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

1.　学校教育法第 83 条に規定する大学を卒業した者及び 2024 年 3 月末までに卒業見込みの者

2.　学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2024 年 3 月末までに授与される見込みの者〔大学評価・学位授与機構から学士の資格を授与された者及び授与される見込みの者〕

3.　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2024 年 3 月末までに修了見込みの者

4.　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び修了見込みの者

5.　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び 2024 年 3 月末までに修了見込みの者

6.　専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2024 年 3 月末までに修了見込みの者

7.　文部科学大臣の指定した者

　1)～4）旧大学令、旧高等師範学校規定、旧師範教育令等関係につき略
　5）防衛大学校又は防衛医科大学校を卒業した者
　6）水産大学校を卒業した者
　7）海上保安大学校を卒業した者
　8）職業訓練大学校の長期課程を修了した者
　9）気象大学校の大学部を卒業した者
　10）教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有するもので 22 歳に達した者
　11）国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者
　12）国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び 3 年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者

8.　学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者で、本大学院において、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

9.　2024 年 4 月 1 日現在で満 22 歳以上の者で、本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（臨床心理学専攻は除く）

※入学資格審査による受験を希望する者は事前に審査を受けていただく必要がありますので、期限までに本学所定の入学資格認定申請書類を入試課に提出してください（詳細については 8-9 頁参照）。

〈臨床心理学専攻を志願する方へ〉

臨床心理学専攻では、4 年制大学において、公認心理師法施行規則第 1 条の 2 又は附則第 3 条（附則第 3 条については、2017 年 9 月 15 日より前に大学に入学していることが条件）に定められた科目を修めて卒業した者又は修めて卒業する見込みの者を出願要件とします。よって、大学院入学試験に合格し入学手続き後であっても、公認心理師法施行規則第 1 条の 2 又は附則第 3 条に定められた科目を修めていない場合には入学手続きを取り消します。

〈保健看護学専攻助産学研究分野を志願する方へ〉

保健看護学専攻助産学研究分野志願者は、女子に限ります。また、入学時に看護師免許を有している者又は看護師国家試験に合格している者とします。よって、大学院入学試験に合格し入学手続き後であっても、看護師国家試験に不合格となった場合には、入学手続きを取り消します。

■ 出願に関する事前相談窓口

1. **必ず事前に志望する専攻の担当者と連絡をとり、出願要件・研究計画などの内容について、十分に確認・相談をしてください。**
2. **電話番号：086-462-1111（代表）に電話し、専攻担当者の内線番号と用件を伝えてください。**
   専攻別担当者・内線番号は、次のとおりです。

研究科	専攻		担当者	内線番号
医療福祉学研究科	医療福祉学専攻		竹中麻由美	54908、54510
	臨床心理学専攻		水子	54951、54556
	保健看護学専攻		中新	54903
医療技術学研究科	感覚矯正学専攻		岡	54632、54904
	健康体育学専攻（健康科学専攻）		矢野	54907、54835
	臨床栄養学専攻		武政	54905
	リハビリテーション学専攻		國安	54979
	医療技術学専攻	臨床工学研究コース	茅野	54008、54657
		臨床検査学研究コース	通山	54001、54423
		診療放射線技術学研究コース	小野	54063
医療福祉マネジメント学研究科	医療福祉経営学専攻		櫃石	54901、54611
	医療秘書学専攻		山本	54009
	医療福祉デザイン学専攻		横田	54900
	医療情報学専攻（医療福祉マネジメント学専攻）		阿南	54906

※担当者が不在の時は、電話をかけなおしていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 試験日・試験科目

修士１期：2023年 9 月 6 日㈬
修士２期：2024年 2 月21日㈬

出願区分	実 施 時 間	試 験 科 目	摘　　要
公募	10：00～11：30（90分）	筆記試験（専門科目）	専攻分野に関連したもの
	12：00～	口 述 試 験	主として専攻分野について個別に行う
推薦	10：00～	口 述 試 験	主として専攻分野について個別に行う

■ 選　抜　方　法

公募	筆記試験（専門科目）（100点）、口述試験（100点）及び出願書類等の審査結果を総合的に評価する。
推薦	口述試験（100点）及び出願書類等の審査結果を総合的に評価する。

■ 出　願　期　間

修士１期：2023年 8 月18日㈮ ～ 8 月25日㈮【消印有効】
修士２期：2024年 2 月 5 日㈪ ～ 2 月 9 日㈮【消印有効】

■ 出　願　書　類

本学所定の書類等は、ホームページ「入試情報」よりダウンロードしてください。

書　類　等	摘　　要
入学願書（Ⓐ票）	●本学所定の様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、42-45頁の『出願書類記入上の注意』を参照してください。
職歴、実務経験歴等記入書（Ⓑ票）	
入学検定料納入案内書（Ⓒ票）	●入学検定料振り込み後、写真票Ⓓ票（45頁参照）下部の所定箇所に、金融機関収納印が押された「入学検定料振込通知書【大学院】＜②本人→大学＞」を貼付してください。
写真票（Ⓓ票）	●無帽、背景無地、上半身正面向（縦 4 cm×横 3 cm）で 3 か月以内に撮影したものを、写真票Ⓓ票（45頁参照）に貼付してください。<u>裏面に志望専攻、氏名を必ず記入してください。</u> ●下部の所定箇所に入学検定料振込通知書を貼付すること。
受験票（Ⓔ票）	●本学所定の様式に必要事項を記入し、所定の金額（344円）分の切手を貼ってください（出願書類を持参する場合は、切手は不要です）。
※卒業（見込）証明書	●出身大学等が作成した証明書を提出してください。
※成績証明書〈厳封〉	●出身大学等が作成し、**<u>厳封された証明書</u>**を提出してください。
卒業論文及び研究計画概要	●大学における卒業論文あるいは卒業研究の概要等（これに類するものがない場合は、業績、志望動機等で替えることができます）に、将来の研究計画の概要を加えたものを本学所定の様式に 2000 字程度でまとめて提出してください。 ●本学所定の様式であればパソコン（Word等）での作成を可とします。
宛名ラベル	●市販の角 2 封筒（24cm×33.2cm）に貼って使用してください。

(注)1. ※印の書類については、入学資格審査を通過した者は提出する必要はありません（1期・2期共通）。

2. 臨床心理学専攻を志願する者は、4 頁書類の他、公認心理師法施行規則第 1 条の 2 又は附則第 3 条（附則第 3 条については、2017 年 9 月 15 日より前に大学に入学していることが条件）に定められた科目を修めたこと又は修める見込みであることを証明する書類が必要となります。様式は任意ですが、必ず出身大学が証明したものを提出してください。本大学院入学後に、改めて日本心理研修センターの指定する様式での修了証明書・科目履修証明書を提出していただきます。なお、すでに公認心理師資格を有している者又は公認心理師国家試験に合格している者は、上記の出身大学による証明書の代わりに公認心理師登録証（写し）又は合格したことが分かる書類（写し）を提出してください。

■ 出願手続き・方法

出願書類を一括で取り揃え、入学検定料を納入のうえ、本学所定の宛名ラベルを貼付した角 2 封筒（24cm×33.2cm）に入れて、郵便局窓口から必ず簡易書留速達【消印有効】で郵送してください。

また、直接来学して手続きすることもできますが、その場合も入学検定料の振り込みは済ませておいてください。来学して出願手続きをする場合の大学窓口受付時間は、以下のとおりです。

窓口受付時間	平　日　9：00～15：00
	土曜日　9：00～11：00
日曜・祝日の受付業務は行いません。	

■ 入学検定料及び納入方法

入学検定料	納　入　方　法
35,000 円	1. 入学検定料は、振り込みに限ります。最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合）の窓口をご利用ください。ただし、ゆうちょ銀行では取り扱いできません。 2. 入学検定料納入案内書Ⓒ票①～③に必要事項を記入し、切り離さずに金融機関に持参してください。振込依頼書には志願者本人の氏名を記入してください。 3. 振り込み後、Ⓒ票①・②（44頁参照）に取り扱い金融機関の収納印があることを確認してください。なお、Ⓒ票①は領収書となりますので切り離して大切に保管してください。

■ 出 願 上 の 注 意

1. **事前に志望する専攻の担当者と連絡をとってください（3 頁参照）。**
2. **出願要件・研究計画などの内容について、十分に確認・相談をしたうえで出願してください。**また、社会人の方で「教育方法の特例措置」と「長期履修制度」の適用を希望する場合は、47 頁をご確認ください。
3. 一度提出された出願書類及び納入された入学検定料は、返還（返納）いたしません。
4. 受験票（Ⓔ票）に課程・志望研究科・専攻・氏名・性別を記入のうえ、所定の金額（344円）分の切手を貼付し、志願者受験票受取先の住所・氏名を記入してください（来学して提出される場合は、切手を貼付する必要はありません）。
5. 受験票（Ⓔ票）は、出願書類受付後に返送します（来学して出願書類を提出された場合、受験票はその場でお返しします）。万一、試験実施日の 3 日前になっても届かない場合は、入試課へお問い合わせください。
6. 来学して出願手続きをする場合は、あらかじめ入学検定料の振り込みを済ませておいてください。
7. 出願資格において、卒業（修了）見込みで受験し合格した者が、2024 年 3 月末日までに卒業（修了）できない等、入学資格の条件を満たさないことが判明した場合は、入学手続きを取り消します。

■ 受験上の配慮希望について

障がい等の理由で受験に際し特別な配慮を必要とする場合は、事前に入試課に連絡のうえ、出願期間開始の3週間前までに必要書類を提出してください。詳細は本学ホームページ・入試情報内の「受験上の配慮希望について」をご確認ください。

■ 合　格　発　表

修士1期：2023年 9 月15日㈮　午前9時
修士2期：2024年 2 月27日㈫　午前9時

合格発表は、本学ホームページ（https://w.kawasaki-m.ac.jp）のみで行います。合格者には「合格通知」及び「学費・諸会費の振込用紙」、入学手続きに必要な「手続きに関するご案内」を本人あてに簡易書留速達で郵送します。合格者以外には通知しません。

合格者の辞退等により入学予定人数に達しなかった場合は、電話により追加合格の連絡を行うことがあります。

(注)1.　合格発表は本学ホームページで行います。受験番号（8桁）及び誕生月日（4桁）を入力すると合否の確認ができます。

2.　合否についての電話・郵便等による問い合わせには、一切応じられません。

■ 入 学 手 続 き

修士1期：2023年 9 月15日㈮～ 9 月22日㈮【消印有効】
修士2期：2024年 2 月27日㈫～ 3 月 4 日㈪【消印有効】

1.　入学手続きにつきましては、合格通知とともに送付する「手続きに関するご案内」に従い、入学手続き期間内に手続きを完了してください。期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。

（注）入学金等の振り込みのみでは、入学手続きが完了したことにはなりません。

2.　入学手続き期間内に納入金を納め、入学手続きに必要な書類を簡易書留速達【消印有効】で郵送してください。なお、大学窓口での納入金受付業務は行いません。

3.　入学手続きに必要な書類は以下のとおりです（①、③～⑤については所定の書類等を本学ホームページよりダウンロードしてください）。

① 入学届及び誓約書
② 学費・諸会費振込証明書（各1枚）
③ 身元保証書
④ 住民票記載事項証明書
⑤ 入学手続完了通知

■ 2024年度学費等

(1) 学費（入学金を含む）

（単位：円）

区　　分	入学金 （入学時のみ）	授業料/年 （分納金額）	教育充実費/年 （分納金額）	納入金合計/年 （入学手続き時納入金額）
医療福祉学研究科 臨床心理学専攻	200,000	650,000 （325,000）	300,000 （150,000）	1,150,000 （675,000）
医療福祉学研究科 保健看護学専攻 助産学研究分野	200,000	700,000 （350,000）	300,000 （150,000）	1,200,000 （700,000）
上記以外の 研究科・専攻・分野	200,000	400,000 （200,000）	300,000 （150,000）	900,000 （550,000）

① 初年度は上記の学費が必要になります。授業料及び教育充実費は入学手続き時と9月の分納で、入学手続き時には入学金及び授業料・教育充実費の半額〔上記（　）内の金額〕及び（2）諸会費の合計金額を納入してください。
　ただし、本学学部卒業生は入学金が半額（100,000円）となります。
② 1年次秋学期以降の学費は入学金を除く金額で、年2回（4月と9月）の分納となります。詳細は本学ホームページ「大学案内-学費等-大学院-学費等の納入方法について」をご確認ください。
③ 入学手続き時の学費納入は、合格通知とともに送付する振込用紙を使用してください。
④ 上記一覧表の金額以外に、実験・実習に関する費用を別に負担していただく場合があります。

(2) 諸会費

入学手続き時に、諸会費として以下の費用を納入してください。（各研究科・専攻共通）

（単位：円）

内　訳	金　額	摘　要
協　助　会　費	15,000	7,500×2年分
合　計	15,000	

■ 入　学　辞　退

入学金等納入後に入学を辞退する場合は、**2024年3月31日(日) まで**（修士1期・修士2期共通）に所定の入学辞退届を入試課へ提出すれば、入学金以外の納入金を返納します。ただし、3月30日(土) 12:30以降の持込については、本学1階の防災センターに持参してください。

■ 入学資格審査（修士１期・修士２期共通）

出願資格 9.（２頁参照）により出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うため、次の申請書類を入試課へ提出してください。本審査を通過した者に各専攻への出願資格を認めます。

なお、各専攻別の審査基準については、下表の出願資格【入学資格審査に係る各専攻別の基準】を確認してください。

【入学資格審査(出願資格 9)に係る各専攻別の基準】

専　　攻	専　攻　別　基　準
医療福祉学専攻	社会福祉士又は精神保健福祉士の資格取得者、あるいは医療・福祉（保育等も含む）の専門分野で５年以上の実務経験を有する者
保健看護学専攻	看護系の短期大学又は専修学校を卒業・修了した看護師の資格取得者で、看護職として５年以上の実務経験を有する者
感覚矯正学専攻	視能訓練士又は言語聴覚士の資格取得者（資格取得見込者を含みますが、入学時に資格を取得していない場合は、入学手続きを取り消します）
健康体育学専攻	次のいずれかの資格を取得し、５年以上の実務経験を有する者 教育職員免許状、健康運動指導士、スポーツプログラマー、ヘルスケアートレーナー、Ｂ級地域スポーツ指導者等
臨床栄養学専攻	栄養士もしくは管理栄養士の資格取得者
リハビリテーション学専攻	理学・作業療法学系の短期大学又は専修学校を卒業・修了した理学・作業療法士の資格取得者で、理学・作業療法士職として 2 年以上の実務経験を有する者
医療技術学専攻	（臨床工学研究コース） 臨床工学技士の資格取得者であり、かつ臨床工学分野で 2 年以上の実務経験を有する者
	（臨床検査学研究コース） 臨床検査技師の資格取得者であり、かつ臨床検査学分野で 2 年以上の実務経験を有する者
	（診療放射線技術学研究コース） 診療放射線技師の資格取得者であり、かつ診療放射線技術学分野で２年以上の実務経験を有する者
医療福祉経営学専攻	医療機関、福祉施設、教育研究機関、企業等において 5 年以上の実務経験を有する者
医療秘書学専攻	医療機関、福祉施設、教育研究機関等において 5 年以上の実務経験を有する者
医療福祉デザイン学専攻	デザインあるいは医療、福祉の専門分野で 5 年以上の実務経験を有する者
医療情報学専攻	医療あるいは情報関連の業務に十分な経験を有する者

(1)　申請期限

審査を受ける者は、以下（2）の申請書類を入学資格認定申請期限までに入試課へ提出【当日必着】してください。

入学資格審査結果は、出願開始日までに申請者あてに郵便で通知します。入学資格審査通過者は、本試験の出願期間に出願書類（４頁参照）を提出してください。

	入学資格認定申請期限
修士１期	2023 年 7 月 13 日㈭　【当日必着】
修士２期	2024 年 1 月 4 日㈭　【当日必着】

(2)　申請書類

書　類　等	摘　　要
※入学資格認定申請書	●本学所定の用紙を使用してください。 ●学歴は高等学校卒業から記入してください。
※入学資格認定申請理由書	●本学所定の用紙を使用してください。
卒業（修了）証明書	●出身学校等の学校長等が作成したものを提出してください。
成績証明書〈厳封〉	●出身学校等の学校長等が作成し、厳封したものを提出してください。
免許状の写し	●各専攻において、入学資格審査に係る各種免許状の写しを提出してください。

※本学所定の書類については、本学ホームページ「入試情報－大学院入学資格の個別審査」よりダウンロードできます。

(3)　入学検定料

入学資格審査における入学検定料は不要です。入学資格審査を通過し、本試験に出願する志願者のみ入学検定料を納入してください。

(4)　申請上の注意

・申請期限までにすべての書類を揃えてください。申請書類に不備がある場合は受理できません。
・郵送する場合は、封筒の表に「入学資格申請」と朱書し、必ず簡易書留速達で郵送してください。
・１期において入学資格の認定を受けた者は、当該認定を受けた専攻については、2期において再度入学資格審査を申請する必要はありません。

(5)　申請先

川崎医療福祉大学 入試課
〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288（☎ 086-464-1004）

【修士課程各研究科・専攻】
教育課程の概要

2024 年度の教育課程の概要を次頁から掲載しています。

授業科目の内容及び担当教員は、本学ホームページ（https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/）に掲載していますので、そちらをご覧ください。

【医療福祉学研究科医療福祉学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
医療福祉基礎研究	医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	子ども医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	子ども医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	社会学特論Ⅰ	1		2
	社会学特論Ⅱ	1		2
	社会福祉調査特論Ⅰ	1		2
	社会福祉調査特論Ⅱ	1		2
	文化人類学特論Ⅰ	1		2
	文化人類学特論Ⅱ	1		2
	人間行動学特論Ⅰ	1		2
	人間行動学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉の生命倫理学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉の生命倫理学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉学基礎演習Ⅰ	1		2
	医療福祉学基礎演習Ⅱ	1		2
	質的研究方法論Ⅰ	1		2
	質的研究方法論Ⅱ	1		2
発達障害研究	ＴＥＡＣＣＨプログラム特論Ⅰ	1		2
	ＴＥＡＣＣＨプログラム特論Ⅱ	1		2
	ＴＥＡＣＣＨプログラム演習Ⅰ	1		2
	ＴＥＡＣＣＨプログラム演習Ⅱ	2		2
	自閉症学概論	1		2
	自閉症児（者）支援特論Ⅰ	1		2
	自閉症児（者）支援特論Ⅱ	1		2
	コミュニケーション研究	1		2
	自閉症の病理	1		2
	高機能自閉症研究	1		2
	発達障害児(者)福祉学特論Ⅰ	1		2
	発達障害児(者)福祉学特論Ⅱ	1		2
	障害者医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	障害者医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	特別支援教育特論	1		2
	聴覚障害生理・病理特論	1		2
	聴覚障害心理学特論	1		2
	知的障害特論	1		2
医療福祉研究	医療ソーシャルワーク特論Ⅰ	1		2
	医療ソーシャルワーク特論Ⅱ	1		2
	精神保健福祉学特論Ⅰ	1		2
	精神保健福祉学特論Ⅱ	1		2
	精神医学特論Ⅰ	1		2
	精神医学特論Ⅱ	1		2
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1		2
	ソーシャルワーク実習	1		9
	ソーシャルワーク・スーパービジョン特論	1		2
	インタープロフェッショナル・ワーク演習	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
社会福祉研究	社会福祉学特論Ⅰ	1		2
	社会福祉学特論Ⅱ	1		2
	児童家庭福祉学特論Ⅰ	1		2
	児童家庭福祉学特論Ⅱ	1		2
	高齢者医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	高齢者医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	地域医療福祉学特論Ⅰ	1		2
	地域医療福祉学特論Ⅱ	1		2
	福祉教育特論Ⅰ	1		2
	福祉教育特論Ⅱ	1		2
医療福祉政策研究	社会政策・社会保障特論Ⅰ	1		2
	社会政策・社会保障特論Ⅱ	1		2
	医療福祉制度特論Ⅰ	1		2
	医療福祉制度特論Ⅱ	1		2
	医療福祉経済学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉経済学特論Ⅱ	1		2
環境福祉研究	環境福祉学特論	1		2
	産業保健福祉学特論	1		2
	公衆衛生学特論Ⅰ	1		2
	公衆衛生学特論Ⅱ	1		2
	地域保健福祉学特論Ⅰ	1		2
	地域保健福祉学特論Ⅱ	1		2
遺伝カウンセリング研究	遺伝医療と生命倫理学特論	2		2
	臨床心理学特論	1		2
	人類遺伝学特論Ⅰ	1		2
	人類遺伝学特論Ⅱ	1		2
	遺伝医学特論Ⅰ	1		2
	遺伝医学特論Ⅱ	2		2
	遺伝カウンセリング・臨床遺伝学特論	1		2
	人類遺伝学演習	1		2
	遺伝カウンセリング演習Ⅰ	1		2
	遺伝カウンセリング演習Ⅱ	2		2
	臨床遺伝学・遺伝情報学演習	1		2
	遺伝カウンセリング学研究Ⅰ	1		2
	遺伝カウンセリング学研究Ⅱ	2		2
	遺伝カウンセリング実習Ⅰ	1		2
	遺伝カウンセリング実習ⅡＡ	2		2
	遺伝カウンセリング実習ⅡＢ	2		2
	医学特論	1		2
医療福祉学実習		1		4
医療福祉学特別研究Ⅰ		2	2	
医療福祉学特別研究Ⅱ		2	2	

修了要件・必修４単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「医療福祉学特別研究Ⅰ」２単位、「医療福祉学特別研究Ⅱ」２単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉学研究科臨床心理学専攻】

授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
臨床心理学特論Ａ	1	2	
臨床心理学特論Ｂ	1	2	
医療福祉学特論Ａ	1		2
医療福祉学特論Ｂ	1		2
臨床心理査定演習Ａ	2	2	
臨床心理査定演習Ｂ	2	2	
障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	1		2
臨床心理面接特論Ａ	1	2	
臨床心理面接特論Ｂ	1	2	
グループ・アプローチ特論	1		2
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1		2
老年心理学特論	1		2
社会心理学特論	1		2
心理学研究法特論	1		2
学校臨床心理学特論	1		2
発達心理学特論	1		2
人間関係学特論	1		2
神経生理学特論	1		2
学習心理学特論	1		2
教育分野に関する理論と支援の展開	1		2

授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
社会病理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	1		2
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1		2
心理的アセスメントに関する理論と実践	1		2
心理支援に関する理論と実践	1		2
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1		2
心の健康教育に関する理論と実践	1		2
臨床心理学研究法特論	1		2
臨床心理学研究法演習Ａ	2		2
臨床心理学研究法演習Ｂ	2		2
臨床心理基礎実習Ａ	1	1	
臨床心理基礎実習Ｂ	1	1	
心理実践実習Ａ	1		2
心理実践実習Ｂ	1		1
心理実践実習Ｃ	1		2
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習D）	2	2	
臨床心理実習Ⅱ（心理実践実習E）	2	3	
臨床心理実習Ⅲ	2	1	

修了要件・必修20単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文又は特定の課題を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「臨床心理学研究法特論」、「臨床心理学研究法演習Ａ」及び「臨床心理学研究法演習Ｂ」の合計 6 単位を必ず修得すること。
・「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ｄ）」を履修する場合は、「心理実践実習Ａ」を修得済みであること。
・「臨床心理実習Ⅲ」を履修する場合は、「心理実践実習Ｂ」を修得済みであること。
・修了要件32単位のうち 8 単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉学研究科保健看護学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎理論研究	看護原書講読特論	1		2
	看護教育学特論	1		2
	看護理論特論	1		2
	看護研究方法論Ⅰ	1		2
	看護研究方法論Ⅱ	1		2
	看護倫理学特論	1		2
	看護管理学特論	1		2
	アドバンストフィジカルアセスメント	1		2
	病態学特論	1		2
	臨床薬理学特論	1		2
	看護臨床医科学特論	1		2
	コンサルテーション論	1		2
保健看護学研究	基礎看護学特論	1		2
	基礎看護学演習	1		2
	看護法科学特論	1		2
	看護法科学演習	1		2
	母性看護学特論	1		2
	母性看護学演習	1		2
	小児看護学特論	1		2
	小児看護学演習	1		2
	成人看護学特論	1		2
	成人看護学演習	1		2
	高齢者看護学特論	1		2
	高齢者看護学演習	1		2
	在宅看護学特論	1		2
	在宅看護学演習	1		2
	精神看護学特論	1		2
	精神看護学演習	1		2
	公衆衛生看護学特論	1		2
	公衆衛生看護学演習	1		2
高度実践看護研究 がん看護学	がん看護学特論	1		2
	がん看護援助学特論	1		2
	がん薬物療法看護援助学特論	1		2
	がん薬物療法看護学特論	1		2
	緩和ケア援助学特論	1		2
	緩和ケア特論	1		2
	がん看護学実習Ⅰ	2		6
	がん看護学実習Ⅱ	2		2
	がん看護学実習Ⅲ	2		2

研究分野		授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
高度実践看護研究	クリティカルケア看護学	クリティカルケア看護学特論	1		2
		クリティカルケア看護学アセスメント論	1		2
		クリティカルケア治療管理学特論	1		2
		クリティカルケア看護学援助特論Ⅰ	1		2
		クリティカルケア看護学援助特論Ⅱ	1		2
		クリティカルケア看護学援助特論Ⅲ	1		2
		クリティカルケア看護学緩和ケア援助特論	1		2
		クリティカルケア看護学実習Ⅰ	2		2
		クリティカルケア看護学実習Ⅱ	2		3
		クリティカルケア看護学実習Ⅲ	2		5
助産学研究		基礎助産学特論	1		2
		周産期学特論	1		2
		ウィメンズヘルス特論	1		2
		妊娠期助産診断・技術学演習	1		3
		分娩期助産診断・技術学演習	1		3
		産褥期助産診断・技術学演習	1		2
		周産期救急医学特論	1		1
		新生児医学特論	1		1
		地域母子保健学特論	1		2
		助産業務管理学特論	1		2
		助産学実習Ⅰ	1		1
		助産学実習Ⅱ	1		1
		助産学実習Ⅲ	2		6
		助産学実習Ⅳ	2		2
		助産学実習Ⅴ	2		1
看護管理学研究		実践看護管理学特論	1		2
		看護経済学特論	1		2
		看護政策学特論	1		2
		看護管理学演習Ⅰ	2		2
		看護管理学演習Ⅱ	2		2
		保健看護学セミナーⅠ	1		2
		保健看護学セミナーⅡ	2		2
		保健看護学特別研究Ⅰ	2		4
		保健看護学特別研究Ⅱ	2		4
		課題研究Ⅰ	2		2
		課題研究Ⅱ	2		2

修了要件・研究分野ごとに定められた科目を32単位以上修得し、かつ修士論文又は特定の課題を作成し、最終試験に合格すること。なお、特定の課題については、高度実践看護研究分野、助産学研究分野に適応とする。

履修方法

【各分野共通】

・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。

・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

＜保健看護学研究分野＞

・「看護原書講読特論」２単位および指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」４単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」４単位を必ず修得すること。

＜看護管理学研究分野＞

・「看護原書講読特論」2単位および指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」4単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」4単位を必ず修得すること。
・認定看護管理者認定審査受験資格を取得できる。

＜高度実践看護研究分野：がん看護学＞

・「看護原書講読特論」2単位および指導教員の担当する「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
・がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得しようとする場合は、下表の17科目を履修し、38単位以上を修得すること。また、実務研修（就労）通算5年以上（うち、がん看護分野の研修（就労）が3年以上）を有すること。

研究分野		授業科目	単位数	履修の方法
基礎理論研究		看護教育学特論	2	選択8単位
		看護理論特論	2	
		看護研究方法論Ⅰ	2	
		看護倫理学特論	2	
		看護管理学特論	2	
		コンサルテーション論	2	
		アドバンストフィジカルアセスメント	2	必修30単位
		病態学特論	2	
		臨床薬理学特論	2	
		看護臨床医科学特論	2	
高度実践看護研究	がん看護学	がん薬物療法看護学特論	2	
		緩和ケア特論	2	
		がん看護学特論	2	
		がん看護援助学特論	2	
		がん薬物療法看護援助学特論	2	
		緩和ケア援助学特論	2	
		がん看護学実習Ⅰ	6	
		がん看護学実習Ⅱ	2	
		がん看護学実習Ⅲ	2	

＜高度実践看護研究分野：クリティカルケア看護学＞

・「看護原書講読特論」2単位および指導教員の担当する「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
・急性・重症患者看護専門看護師認定審査受験資格を取得しようとする場合は、下表の17科目を履修し、38単位以上を修得すること。また、実務研修（就労）通算5年以上（うち、クリティカルケア看護分野の研修（就労）が3年以上）を有すること。

研究分野		授業科目	単位数	履修の方法
基礎理論研究		看護教育学特論	2	選択8単位
		看護理論特論	2	
		看護研究方法論Ⅰ	2	
		看護倫理学特論	2	
		看護管理学特論	2	
		コンサルテーション論	2	
		アドバンストフィジカルアセスメント	2	必修30単位
		病態学特論	2	
		臨床薬理学特論	2	
高度実践看護研究	クリティカルケア看護学	クリティカルケア看護学特論	2	
		クリティカルケア看護学アセスメント論	2	
		クリティカルケア治療管理学特論	2	
		クリティカルケア看護学援助特論Ⅰ	2	
		クリティカルケア看護学援助特論Ⅱ	2	
		クリティカルケア看護学援助特論Ⅲ	2	
		クリティカルケア看護学緩和ケア援助特論	2	
		クリティカルケア看護学実習Ⅰ	2	
		クリティカルケア看護学実習Ⅱ	3	
		クリティカルケア看護学実習Ⅲ	5	

＜助産学研究分野＞

・「看護原書講読特論」2単位および指導教員の担当する「課題研究Ⅰ」2単位、「課題研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。

・助産師国家試験受験資格を取得しようとする場合は、修了要件32単位に加えて、下表の15科目31単位を必修とする。

分野	授業科目	単位数	履修の方法
基礎助産学	基礎助産学特論	2	必修31単位
	周産期学特論	2	
	ウィメンズヘルス特論	2	
助産診断・技術学	妊娠期助産診断・技術学演習	3	
	分娩期助産診断・技術学演習	3	
	産褥期助産診断・技術学演習	2	
	周産期救急医学特論	1	
	新生児医学特論	1	
地域母子保健学	地域母子保健学特論	2	
助産管理学	助産業務管理学特論	2	
助産学実習	助産学実習Ⅰ	1	
	助産学実習Ⅱ	1	
	助産学実習Ⅲ	6	
	助産学実習Ⅳ	2	
	助産学実習Ⅴ	1	

【医療技術学研究科感覚矯正学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎感覚矯正学研究	感覚矯正学特論Ⅰ	1		2	言語聴覚学研究	言語聴覚生理学特論Ⅰ	1		2
	感覚矯正学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚生理学特論Ⅱ	1		2
	感覚器病理学特論Ⅰ	1		2		言語聴覚生理学演習Ⅰ	2		2
	感覚器病理学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚生理学演習Ⅱ	2		2
	視覚・言語聴覚解剖学特論Ⅰ	1		2		言語聴覚発達学特論Ⅰ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚発達学特論Ⅱ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学演習Ⅰ	2		2		言語聴覚発達学演習Ⅰ	2		2
	視覚・言語聴覚解剖学演習Ⅱ	2		2		言語聴覚発達学演習Ⅱ	2		2
視能矯正学研究	視覚臨床生理学特論Ⅰ	1		2		言語聴覚臨床病理学特論Ⅰ	1		2
	視覚臨床生理学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚臨床病理学特論Ⅱ	1		2
	視覚臨床生理学演習Ⅰ	2		2		言語聴覚臨床病理学演習Ⅰ	2		2
	視覚臨床生理学演習Ⅱ	2		2		言語聴覚臨床病理学演習Ⅱ	2		2
	視覚発達学特論Ⅰ	1		2		音声言語病理学特論Ⅰ	1		2
	視覚発達学特論Ⅱ	1		2		音声言語病理学特論Ⅱ	1		2
	視覚発達学演習Ⅰ	2		2		音声言語病理学演習Ⅰ	2		2
	視覚発達学演習Ⅱ	2		2		音声言語病理学演習Ⅱ	2		2
	視覚障害リハビリテーション学特論Ⅰ	1		2		オージオロジー特論Ⅰ	1		2
	視覚障害リハビリテーション学特論Ⅱ	1		2		オージオロジー特論Ⅱ	1		2
	視覚障害リハビリテーション学演習Ⅰ	2		2		オージオロジー演習Ⅰ	2		2
	視覚障害リハビリテーション学演習Ⅱ	2		2		オージオロジー演習Ⅱ	2		2
	視覚臨床病理学特論Ⅰ	1		2		言語発達障害学特論Ⅰ	1		2
	視覚臨床病理学特論Ⅱ	1		2		言語発達障害学特論Ⅱ	1		2
	視覚臨床病理学演習Ⅰ	2		2		言語発達障害学演習Ⅰ	2		2
	視覚臨床病理学演習Ⅱ	2		2		言語発達障害学演習Ⅱ	2		2
	視能矯正・訓練学特論Ⅰ	1		2		医療言語聴覚学特論Ⅰ	1		2
	視能矯正・訓練学特論Ⅱ	1		2		医療言語聴覚学特論Ⅱ	1		2
	視能矯正・訓練学演習Ⅰ	2		2		医療言語聴覚学演習Ⅰ	2		2
	視能矯正・訓練学演習Ⅱ	2		2		医療言語聴覚学演習Ⅱ	2		2
	視能矯正・訓練学実習Ⅰ	1		2		医療言語聴覚学実習Ⅰ	1		2
	視能矯正・訓練学実習Ⅱ	1		2		医療言語聴覚学実習Ⅱ	1		2

修了要件・選択した研究分野の中の特論４科目以上を含む32単位以上を修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する演習４単位を必ず修得すること。
・実習科目４単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科健康体育学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
運動学研究	運動生理学特論Ⅰ	1		2
	運動生理学特論Ⅱ	1		2
	運動適応学特論Ⅰ	1		2
	運動適応学特論Ⅱ	1		2
	体表解剖学特論Ⅰ	1		2
	体表解剖学特論Ⅱ	1		2
	バイオメカニクス特論Ⅰ	1		2
	バイオメカニクス特論Ⅱ	1		2
	運動学演習	2		2
生涯スポーツ医学研究	臨床スポーツ医学特論Ⅰ	1		2
	臨床スポーツ医学特論Ⅱ	1		2
	生涯スポーツ医学特論Ⅰ	1		2
	生涯スポーツ医学特論Ⅱ	1		2
	リハビリテーション医学特論Ⅰ	1		2
	リハビリテーション医学特論Ⅱ	1		2
	公衆衛生学特論Ⅰ	1		2
	公衆衛生学特論Ⅱ	1		2
	生涯スポーツ医学演習	2		2
健康学研究	運動栄養学特論Ⅰ	1		2
	運動栄養学特論Ⅱ	1		2
	健康免疫学特論Ⅰ	1		2
	健康免疫学特論Ⅱ	1		2
	健康運動処方特論Ⅰ	1		2
	健康運動処方特論Ⅱ	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
健康学研究	休養科学特論Ⅰ	1		2
	休養科学特論Ⅱ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅰ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅱ	1		2
	学校保健学特論Ⅰ	1		2
	学校保健学特論Ⅱ	1		2
	健康学演習	2		2
健康教育学研究	健康教育学特論Ⅰ	1		2
	健康教育学特論Ⅱ	1		2
	体育心理学特論Ⅰ	1		2
	体育心理学特論Ⅱ	1		2
	スポーツ社会学特論Ⅰ	1		2
	スポーツ社会学特論Ⅱ	1		2
	健康科学英語特論Ⅰ	1		2
	健康科学英語特論Ⅱ	1		2
	健康教育学演習	2		2
学校教育学研究	学校教育学特論Ⅰ	1		2
	学校教育学特論Ⅱ	1		2
	教育経営学特論Ⅰ	1		2
	教育経営学特論Ⅱ	1		2
	学校教育学演習	2		2
実習	運動処方実習Ⅰ	1		2
	運動処方実習Ⅱ	1		2
	健康学実習	1		1
健康体育学特別研究Ⅰ		2	2	
健康体育学特別研究Ⅱ		2	2	

修了要件・必修４単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「健康体育学特別研究Ⅰ」２単位、「健康体育学特別研究Ⅱ」２単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科臨床栄養学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎栄養学研究	栄養生理学特論Ⅰ	1		2
	栄養生理学特論Ⅱ	1		2
	栄養生理学演習Ⅰ	1		2
	栄養生理学演習Ⅱ	1		2
	栄養生化学特論Ⅰ	1		2
	栄養生化学特論Ⅱ	1		2
	栄養生化学演習Ⅰ	1		2
	栄養生化学演習Ⅱ	1		2
医療栄養学研究	ライフサイクル栄養学特論Ⅰ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅱ	1		2
	ライフサイクル栄養学特論Ⅲ	1		2
	ライフサイクル栄養学演習Ⅰ	1		2
	ライフサイクル栄養学演習Ⅱ	1		2
	ライフサイクル栄養学演習Ⅲ	1		2
	臨床栄養学特論Ⅰ	1		2
	臨床栄養学特論Ⅱ	1		2
	臨床栄養学特論Ⅲ	1		2
	臨床栄養学演習Ⅰ	1		2
	臨床栄養学演習Ⅱ	1		2
	臨床栄養学演習Ⅲ	1		2
	実践栄養学特論	1		2
	実践栄養学演習	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
食品科学研究	食品栄養学特論Ⅰ	1		2
	食品栄養学特論Ⅱ	1		2
	食品栄養学演習Ⅰ	1		2
	食品栄養学演習Ⅱ	1		2
	食品衛生学特論	1		2
	食品衛生学演習	1		2
	食品微生物学特論	1		2
	食品微生物学演習	1		2
栄養学演習	栄養学演習Ⅰ	1	2	
	栄養学演習Ⅱ	1	2	
特別研究Ⅰ		2	2	
特別研究Ⅱ		2	2	

修了要件・必修 8 単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「特別研究Ⅰ」2 単位、「特別研究Ⅱ」2 単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち 8 単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科リハビリテーション学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎研究	リハビリテーション学特論Ａ	1	2	
	リハビリテーション学特論Ｂ	1	2	
	運動機能学特論Ａ	1		2
	運動機能学特論Ｂ	1		2
	運動機能学演習Ａ	2		2
	運動機能学演習Ｂ	2		2
	運動生理学特論Ａ	1		2
	運動生理学特論Ｂ	1		2
	障害回復学特論Ａ	1		2
	障害回復学特論Ｂ	1		2
	障害回復学演習Ａ	2		2
	障害回復学演習Ｂ	2		2
	障害代償学特論Ａ	1		2
	障害代償学特論Ｂ	1		2
	障害代償学演習Ａ	2		2
	障害代償学演習Ｂ	2		2
	神経機能学特論Ａ	1		2
	神経機能学特論Ｂ	1		2
	医療福祉学特論Ａ	1		2
	医療福祉学特論Ｂ	1		2
	健康増進科学特論Ａ	1		2
	健康増進科学特論Ｂ	1		2
	障害測定学特論Ａ	1		2
	障害測定学特論Ｂ	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
理学療法学研究	理学療法学特論Ⅰ Ａ	1		2
	理学療法学特論Ⅰ Ｂ	1		2
	理学療法学演習Ⅰ Ａ	2		2
	理学療法学演習Ⅰ Ｂ	2		2
	理学療法学特論Ⅱ Ａ	1		2
	理学療法学特論Ⅱ Ｂ	1		2
	理学療法学演習Ⅱ Ａ	2		2
	理学療法学演習Ⅱ Ｂ	2		2
	理学療法学実習Ａ	1		2
	理学療法学実習Ｂ	1		2
作業療法学研究	作業療法学特論Ⅰ Ａ	1		2
	作業療法学特論Ⅰ Ｂ	1		2
	作業療法学演習Ⅰ Ａ	2		2
	作業療法学演習Ⅰ Ｂ	2		2
	作業療法学特論Ⅱ Ａ	1		2
	作業療法学特論Ⅱ Ｂ	1		2
	作業療法学演習Ⅱ Ａ	2		2
	作業療法学演習Ⅱ Ｂ	2		2
	作業療法学実習Ａ	1		2
	作業療法学実習Ｂ	1		2

修了要件・必修４単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する演習４単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科医療技術学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位 必修	単位 選択
医療技術学基礎研究	医療技術学研究特論	1	2	
	英語文献特論	1	2	
	英語プレゼンテーション特論	1	2	
	医療情報解析学特論	1		2
	臨床病態学特論	1		2
	医用画像特論	1		2
	総合画像検査学特論	1		2
	生体医工学特論	1		2
臨床工学研究	臨床工学特論	1		2
	臨床工学演習	1		2
	先進医療学特論	1		2
	先進医療学演習	1		2
	先端医療機器学特論	1		2
	先端医療機器学演習	1		2
	医療安全学特論	1		2
	医療安全学演習	1		2
	生体情報システム工学特論	1		2
	生体情報システム工学演習	1		2
	生体機能解析学特論	1		2
	生体機能解析学演習	1		2
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特論	1		2
	高次生理機能解析学演習	1		2
	臨床化学分析学特論	1		2
	臨床化学分析学演習	1		2
	臨床検査情報解析学特論	1		2
	臨床検査情報解析学演習	1		2
	分子病態解析学特論	1		2
	分子病態解析学演習	1		2
	組織・形態解析学特論	1		2
	組織・形態解析学演習	1		2
	感染防御学特論	1		2
	感染防御学演習	1		2
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特論	1		2
	画像情報理工学演習	1		2
	放射線計測管理学特論	1		2
	放射線計測管理学演習	1		2
	放射線画像検査学特論	1		2
	放射線画像検査学演習	2		2
	医用画像検査学特論	1		2
	医用画像検査学演習	2		2
	放射線治療学特論	1		2
	放射線治療学演習	2		2
	代謝・機能画像検査学特論	1		2
	代謝・機能画像検査学演習	2		2
医療技術学特別研究Ⅰ		2	2	
医療技術学特別研究Ⅱ		2	2	

＜臨床工学研究コース＞

修了要件
・医療技術学基礎研究より8単位以上（必修6単位、選択2単位以上）、臨床工学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース（臨床検査学研究、診療放射線技術学研究）の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

＜臨床検査学研究コース＞

修了要件
・医療技術学基礎研究より8単位以上（必修6単位、選択2単位以上）、臨床検査学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース（臨床工学研究、診療放射線技術学研究）の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

＜診療放射線技術学研究コース＞

修了要件
・医療技術学基礎研究より8単位以上（必修6単位、選択2単位以上）、診療放射線技術学研究より16単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特別研究Ⅰおよび医療技術学特別研究Ⅱの必修4単位、合計32単位以上を修得の上、修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法
・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・修了要件32単位のうち4単位に限り、医療技術学専攻内の他コース（臨床工学研究、臨床検査学研究）の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉マネジメント学研究科医療福祉経営学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎理論	医療福祉マネジメント特論Ⅰ	1	2	
	医療福祉マネジメント特論Ⅱ	1	2	
	倫理学特論	1		2
	社会保障特論Ⅰ	1		2
	社会保障特論Ⅱ	1		2
	医療福祉経済学特論Ⅰ	1		2
	医療福祉経済学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉政策特論Ⅰ	1		2
	医療福祉政策特論Ⅱ	1		2
	財政学特論Ⅰ	1		2
	財政学特論Ⅱ	1		2
	医療福祉統計解析特論Ⅰ	1		2
	医療福祉統計解析特論Ⅱ	1		2
	社会調査特論Ⅰ	1		2
	社会調査特論Ⅱ	1		2
	医療特論Ⅰ	1		2
	医療特論Ⅱ	1		2
	組織行動特論Ⅰ	1		2
	組織行動特論Ⅱ	1		2
	財務会計特論Ⅰ	1		2
	財務会計特論Ⅱ	1		2
	経営工学特論Ⅰ	1		2
	経営工学特論Ⅱ	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
医療福祉経営学研究	医療福祉コンサルタント特論Ⅰ	2		2
	医療福祉コンサルタント特論Ⅱ	2		2
	ＮＰＯマネジメント特論Ⅰ	1		2
	ＮＰＯマネジメント特論Ⅱ	1		2
	医療福祉公的責任特論Ⅰ	1		2
	医療福祉公的責任特論Ⅱ	1		2
	社会福祉施設運営特論Ⅰ	1		2
	社会福祉施設運営特論Ⅱ	1		2
	医療福祉人事労務管理特論Ⅰ	2		2
	医療福祉人事労務管理特論Ⅱ	2		2
	医療法人会計特論Ⅰ	2		2
	医療法人会計特論Ⅱ	2		2
	非営利組織体会計特論Ⅰ	1		2
	非営利組織体会計特論Ⅱ	1		2
	消費者福祉特論Ⅰ	2		2
	消費者福祉特論Ⅱ	2		2
地域支援研究	ソーシャル・アントレプレナー養成特論Ⅰ	1		2
	ソーシャル・アントレプレナー養成特論Ⅱ	1		2
	地域活性化特論Ⅰ	1		2
	地域活性化特論Ⅱ	1		2
医療福祉経営学特別研究Ⅰ		2	2	
医療福祉経営学特別研究Ⅱ		2	2	

修了要件・必修８単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「医療福祉経営学特別研究Ⅰ」２単位、「医療福祉経営学特別研究Ⅱ」２単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉マネジメント学研究科医療秘書学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎理論	医学・医療の倫理特論	1		2
	医療制度・政策特論	1		2
	段取りマネジメント特論	1	2	
	医療情報マネジメント特論	1		2
	病院管理学特論Ⅰ	1		2
	病院管理学特論Ⅱ	1		2
	医療秘書英語特論Ⅰ	1	2	
	医療秘書英語特論Ⅱ	1		2
	組織行動特論	1		2
	病院経営財務特論	1		2
医療秘書学研究	医療秘書学特論	1	2	
	医療秘書機能特論	1	2	
	医療秘書法令特論	1		2
	医療秘書研究支援特論	1		2
	医療秘書研究支援業務特論	1		2
	医療秘書組織行動特論	1		2
	対医療経営者気配り特論	1		2
	医療秘書英語特論Ⅲ	2		2
	医療秘書英語特論Ⅳ	2		2
	メディカル・コンシューマー特論	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
医療秘書学実習	医療秘書学実習	1		2
	医療秘書学セミナーⅠ	1		1
	医療秘書学セミナーⅡ	1		1
	医療秘書学特別研究Ⅰ	2	2	
	医療秘書学特別研究Ⅱ	2	2	

修了要件・必修12単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「医療秘書学特別研究Ⅰ」２単位、「医療秘書学特別研究Ⅱ」２単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉マネジメント学研究科医療福祉デザイン学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎理論	デザイン史特論Ⅰ	1		2	医療福祉デザイン学研究	ビジュアルコミュニケーションデザイン特論Ⅱ	1		2
	デザイン史特論Ⅱ	1		2		ビジュアルコミュニケーションデザイン演習Ⅰ	1		2
	倫理学特論	1		2		ビジュアルコミュニケーションデザイン演習Ⅱ	1		2
	医療福祉マネジメント特論	1		2		医療福祉デザイン計画特論	1		2
	社会保障特論	1		2		医療福祉デザイン計画演習	1		2
	認知心理学特論	1		2		ホスピタルイベントプロジェクト特論Ⅰ	1		2
	社会学特論	1		2		ホスピタルイベントプロジェクト特論Ⅱ	1		2
医療福祉デザイン学研究	医療福祉デザイン学特論	1	2			医療福祉アート演習Ⅰ	1		2
	ヒトや動物の形および構造のデザイン特論	1		2		医療福祉アート演習Ⅱ	1		2
	ヒトや動物の形と機能のデザイン特論	1		2		ホスピタルデザイン特論Ⅰ	1		2
	生体デザイン学特論Ⅰ	1		2		ホスピタルデザイン特論Ⅱ	1		2
	生体デザイン学特論Ⅱ	1		2		ホスピタルデザイン演習Ⅰ	1		2
	生体デザイン学演習Ⅰ	1		2		ホスピタルデザイン演習Ⅱ	1		2
	生体デザイン学演習Ⅱ	1		2		医療福祉施設デザイン特論	1		2
	医療情報デザイン特論Ⅰ	1		2		医療福祉施設デザイン演習	1		2
	医療情報デザイン特論Ⅱ	1		2	医療福祉デザイン学特別研究Ⅰ		2	2	
	ビジュアルコミュニケーションデザイン特論Ⅰ	1		2	医療福祉デザイン学特別研究Ⅱ		2	2	

修了要件・必修6単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文等（修士論文又は修士作品）を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「医療福祉デザイン学特別研究Ⅰ」2単位、「医療福祉デザイン学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉マネジメント学研究科医療情報学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
基礎理論	倫理学特論	1		2
	医療福祉マネジメント特論	1		2
	社会保障特論	1		2
医療支援システム学研究	医療情報管理学特論Ａ	1		2
	医療情報管理学特論Ｂ	1		2
	医療情報システム学特論Ａ	1		2
	医療情報システム学特論Ｂ	1		2
	生体システム工学特論Ａ	1		2
	生体システム工学特論Ｂ	1		2
	国際医療情報処理学特論Ａ	1		2
	国際医療情報処理学特論Ｂ	1		2
	病院管理情報システム工学特論Ａ	1		2
	病院管理情報システム工学特論Ｂ	1		2
	医用画像工学特論Ａ	1		2
	医用画像工学特論Ｂ	1		2
情報システム工学研究	福祉システム工学特論Ａ	1		2
	福祉システム工学特論Ｂ	1		2
	生体情報工学特論Ａ	1		2
	生体情報工学特論Ｂ	1		2
	情報通信ネットワーク特論Ａ	1		2
	情報通信ネットワーク特論Ｂ	1		2
	ソフトコンピューティング特論Ａ	1		2
	ソフトコンピューティング特論Ｂ	1		2
	医療情報セキュリティ特論Ａ	1		2
	医療情報セキュリティ特論Ｂ	1		2

研究分野	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択
数理情報学研究	応用数値解析特論Ａ	1		2
	応用数値解析特論Ｂ	1		2
	応用解析特論Ａ	1		2
	応用解析特論Ｂ	1		2
	数値解析特論Ａ	1		2
	数値解析特論Ｂ	1		2
	シミュレーション科学特論Ａ	1		2
	シミュレーション科学特論Ｂ	1		2
医療情報学特別研究Ａ		2	2	
医療情報学特別研究Ｂ		2	2	

修了要件・必修４単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
・指導教員の担当する「医療情報学特別研究Ａ」２単位、「医療情報学特別研究Ｂ」２単位を必ず修得すること。
・修了要件32単位のうち８単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。